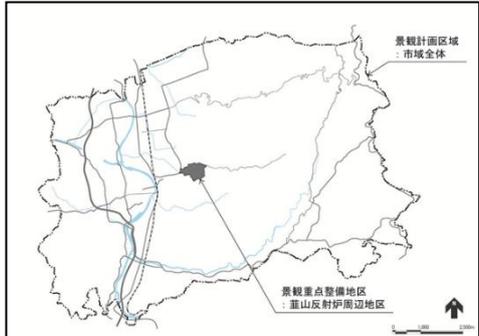
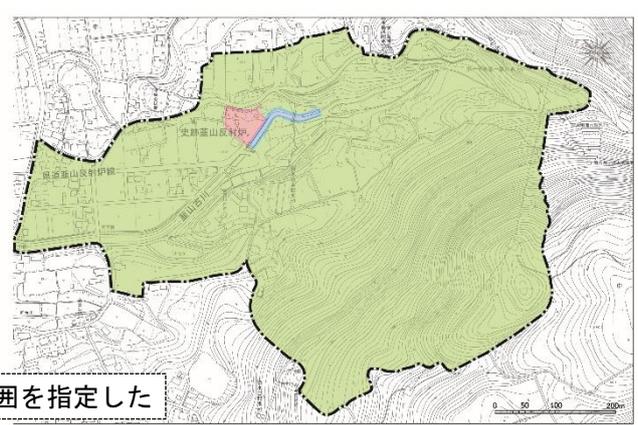


令和6年度進捗評価シート

伊豆の国市歴史的風致維持向上計画（平成30年7月11日認定）

□ 進捗評価シート（様式1）	
① 組織体制（様式1-1）	
1 計画の推進体制	1
② 重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1-2）	
1 伊豆の国市景観形成基本計画等との連携	2
2 「伊豆の国市景観形成基本計画」、「伊豆の国市屋外広告物条例」に基づく屋外広告物の適正な維持管理	3
③ 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1-3）	
1 江川文庫収蔵施設建設事業	4
2 江川邸周辺の歴史的風致形成建造物保全事業	5
3 史跡葦山反射炉保存修理事業・史跡葦山反射炉整備事業	6
4 無形民俗文化財記録作成事業	7
5 地域に根付いている祭事に対する運営支援事業	8
6 (重文)葦山代官江川家関係資料美術工芸品保存修理事業	9
7 史跡葦山役所跡保存活用計画策定事業	10
8 史跡北条氏邸跡（円成寺跡）保存整備事業	11
9 史跡公園整備事業「守山中世史跡群」PFI事業	12
10 葦山城跡総合調査事業	13
11 江川邸と葦山反射炉を結ぶ道路の美装化事業	14
12 重点区域における景観を阻害する電柱の撤去・移設事業	15
13 長岡温泉街の中心部を通る道路の美装化事業	16
14 民有地における伊豆長岡温泉活性化に向けたまちづくり・賑わいづくり創出事業	17
15 公共サイン整備事業	18
16 市内民俗芸能・祭典等実施事業	19
17 市民組織の活動費補助事業	20
④ 文化財の保存又は活用に関する事項（様式1-4）	
1 文化財調査、指定、保存管理（活用）計画の策定	21
2 文化財に関する普及・啓発の取組、防災訓練の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組	22
3 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災・防犯に関する事業	23
⑤ 効果・影響等に関する報道（様式1-5）	
1 歴史や伝統文化を生かしたまちづくりに向けて	24
⑥ その他（効果等）（様式1-6）	
1 住民意識の向上	25
2 文化財の保存及び活用に向けた普及・啓発の必要性	26
□ 法定協議会等におけるコメントシート（様式2）	27

評価軸① - 1 組織体制		評価対象年度	令和 6 年度								
項目		現在の状況									
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手									
計画に記載している内容	本計画の推進、実施にあたっては、計画策定時同様に都市計画課・文化財課が事務局を担い、歴史まちづくり法第 11 条に基づく伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。計画の推進や事業の実施に際しては、国や静岡県等の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。										
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で											
計画認定後の事業推進に係る評価機関として設置した、伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会から引き続き意見聴取を行う。内部体制としては、協議会事務局である都市計画課と文化財課の連携を強化し、事業の担当部署である建設課や観光文化課との庁内協議を必要に応じて行った。											
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）										
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・各部署の事業は、様々な要因が重なり、当初の事業計画との変更が生じている。また、事業調査や資料収集等に時間を要している。										
状況を示す写真や資料等											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 庁内会議の体制 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 庁内会議の開催 </div>									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 事務局：都市計画課、文化財課 <コアメンバー> 観光文化課（観光振興部局） 建設課（都市整備部局） 文化財課（教育部局） 都市計画課（計画推進部局） </div>		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>検討内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6. 4. 12(金) R6. 5. 16(木) 事務局会議</td> <td> ・新旧担当者の引継、懸案事項等の確認 ・R5 事業進捗評価の確認、HP 公表 ・進捗評価等の提出(中部地整) ・R6 スケジュールの確認 </td> </tr> <tr> <td>R6. 8. 6(火) R6. 9. 27(金) 事務局会議</td> <td> ・歴まちサミットに係る打合せ パンフ、俳句、スライド作成、市長レク ・フォトスポット紹介等地整へ協力 ・協議会に向けた進捗確認 </td> </tr> <tr> <td>R6. 12. 12(木) R7. 2. 5(水) 事務局会議</td> <td> ・計画の軽微な変更に向けた内容の確認 ・事業進捗や評価内容の確認 ・協議会に向けた議事の最終確認 ・R7 スケジュールの確認 </td> </tr> </tbody> </table>		開催日	検討内容	R6. 4. 12(金) R6. 5. 16(木) 事務局会議	・新旧担当者の引継、懸案事項等の確認 ・R5 事業進捗評価の確認、HP 公表 ・進捗評価等の提出(中部地整) ・R6 スケジュールの確認	R6. 8. 6(火) R6. 9. 27(金) 事務局会議	・歴まちサミットに係る打合せ パンフ、俳句、スライド作成、市長レク ・フォトスポット紹介等地整へ協力 ・協議会に向けた進捗確認	R6. 12. 12(木) R7. 2. 5(水) 事務局会議	・計画の軽微な変更に向けた内容の確認 ・事業進捗や評価内容の確認 ・協議会に向けた議事の最終確認 ・R7 スケジュールの確認
開催日	検討内容										
R6. 4. 12(金) R6. 5. 16(木) 事務局会議	・新旧担当者の引継、懸案事項等の確認 ・R5 事業進捗評価の確認、HP 公表 ・進捗評価等の提出(中部地整) ・R6 スケジュールの確認										
R6. 8. 6(火) R6. 9. 27(金) 事務局会議	・歴まちサミットに係る打合せ パンフ、俳句、スライド作成、市長レク ・フォトスポット紹介等地整へ協力 ・協議会に向けた進捗確認										
R6. 12. 12(木) R7. 2. 5(水) 事務局会議	・計画の軽微な変更に向けた内容の確認 ・事業進捗や評価内容の確認 ・協議会に向けた議事の最終確認 ・R7 スケジュールの確認										
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 歴史的風致維持向上協議会 </div> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>検討内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7. 3. 10(月)</td> <td> ・歴史的風致維持向上計画の軽微な変更 ・R6 年度の事業進捗評価について ・委員意見からの聴取等 </td> </tr> </tbody> </table>		開催日	検討内容	R7. 3. 10(月)	・歴史的風致維持向上計画の軽微な変更 ・R6 年度の事業進捗評価について ・委員意見からの聴取等				
開催日	検討内容										
R7. 3. 10(月)	・歴史的風致維持向上計画の軽微な変更 ・R6 年度の事業進捗評価について ・委員意見からの聴取等										
											
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 第 10 回 中部歴まちサミット in 伊賀への参加(令和 6 年 10 月) 市長参加 </div>									

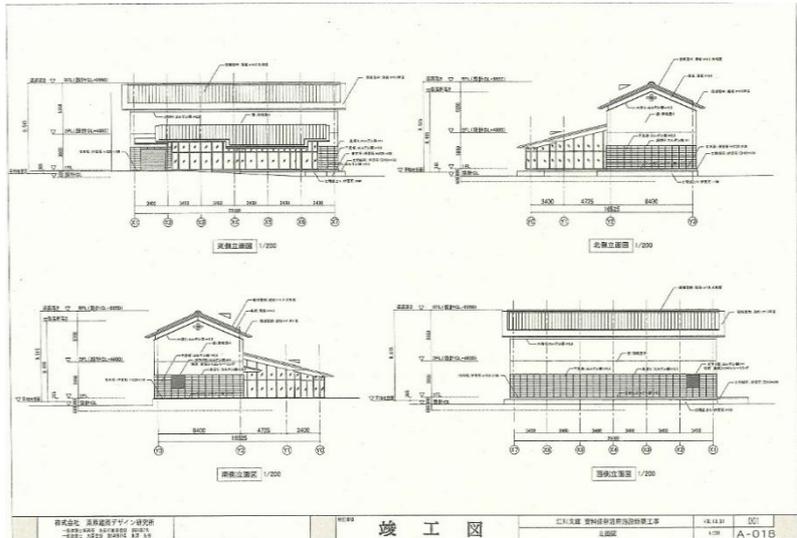
評価軸② - 1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和 6 年度
項目		現在の状況	
伊豆の国市景観形成基本計画等との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本市の景観計画は、豊かな自然と、人々の生業と生活によって培われた歴史や文化によって形づくられ、現在に至るまで伝えられてきた固有の資源を市民共有の財産として捉え、今後のまちづくりに活かし、伊豆の国市独自の景観形成を進めることを目的として、市域全体を対象とした方針を位置付けている。計画に位置付けている景観重点整備地区については、歴史的風致維持向上計画に位置付けた重点区域内に入れ込んでおり、既設の歴史文化資源と調和するよう景観の向上を目指している。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
伊豆の国市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、届出対象行為に該当するすべての建築・工作物について、行為の制限を設けた。また、制定した屋外広告物条例では、特別規制地域や普通規制地域を設けて、広告物や掲出物件の設置に関する基準を明確化し、事業者に対し色彩基準等の啓発を行って屋外広告物指導事業を推進している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">伊豆の国市景観計画 土地利用基本方針</div>			
自然、歴史、文化、街並み等の多様な景観要素が市域全体に広がっていることから、良好な景観形成に関する取り組みは市域全体で総合的かつ計画的に進めていく必要がある。このため、景観計画では「市域全体」を景観計画区域として設定している。			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 田園ゾーン まとまりのある農地や集落地から成る、懐かしさや暮らしの息づかいを感じられる景観を形成します </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 東部山林ゾーン 箱根山麓から続く山間地の豊かな自然環境を保全し、人と自然が織り成す美しい景観を形成します </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 丘陵地ゾーン 斜面緑地を保全し、市街地を縁取るように見える緑豊かな景観を形成します </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 市街地ゾーン 住宅地を中心とした、うるおいと落ち着いた暮らしぶりを演出する景観を形成します </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 葛城山・城山周辺ゾーン 特色のある自然環境を保全し、レクリエーションの場として親しまれる景観を形成します </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 中心市街地ゾーン 本市の中心的な市街地として、風格やにぎわいを醸し出す景観を形成します </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 河川ゾーン 狩野川とその支流の周辺について、自然の豊かさや親しみやすさを感じられる水辺の景観を形成します </div> </div> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 景観計画に規定した景観重点整備地区の範囲 </div>  </div> </div>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> 史跡葦山反射炉 葦山古川河川区域ゾーン 住区・森林ゾーン 景観重点整備地区範囲 </div> <div style="width: 60%;">  </div> </div>			
世界遺産登録を受けた葦山反射炉周辺も含めた範囲を指定した			

評価軸② - 2 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和6年度			
項目		現在の状況				
「伊豆の国市景観形成基本計画」、「伊豆の国市屋外広告物条例」に基づく屋外広告物の適正な維持管理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手				
計画に記載している内容	歴史まちづくり法に規定する重点区域として設定した「葦山反射炉・江川邸とその周辺地区」は、江戸時代の葦山代官所をはじめ長年にわたって、まちの拠点として機能してきた地区である。史跡葦山反射炉周辺は、「伊豆の国市景観形成基本計画」において、景観重点整備地区に指定されている。					
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で						
策定した景観計画では、葦山反射炉周辺地区を「景観重点整備地区」（特に先導的かつ重点的に景観形成を図る必要があると認める区域）として位置付けている。このため、葦山反射炉等と調和する街並み景観の創出を目的に、周辺の建築物・工作物の高さや形態、色彩等を誘導するとともに、屋外広告物の削減に努め、形態や意匠について誘導した。また、計画に位置付けた歴史的風致のエリア内の屋外広告物についても、適正な維持管理が行われるよう継続的に誘導を促した。 ●屋外広告物の改善状況：令和6年度は、景観重点整備地区をはじめ、その周辺区域も含めて野立て看板1件、自家広告物3件の合計4件が改善された。また市職員のパトロールにより、未許可簡易広告物を11件発見し、除却依頼等により6件の除却が完了した。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）					
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						
誘導実績事例（令和6年度）						
誘導前	誘導前	誘導前				
						
誘導後	誘導後	誘導後				
						
大仁地域の国道沿い、特別規制（第2種）エリアに位置する事業店舗自家広告物の色彩について、無許可から新規許可申請の機会に色彩の誘導を行った。	大仁地域の国道沿い、特別規制（第2種）エリアに位置する事業店舗自家広告物の色彩について、店舗改修の機会に色彩の誘導を行った。	葦山地域の、普通規制（第1種）エリアに位置する野立て広告物について、無許可の既存不適格物件のため指導を行い、条例に適合するように改修と除却を行った。				
	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自家広告物	27件	19件	5件	4件	4件	3件
野立て看板	26件	9件	17件	6件	0件	1件
改善合計	53件	28件	22件	10件	4件	4件

評価軸③ - 1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度 令和6年度
項目	現在の状況
江川文庫収蔵施設建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和元年度
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金（重要文化財等（美術工芸品・民俗文化財）保存活用整備事業）
計画に記載している内容	公益財団法人江川文庫が所蔵する重要文化財葦山代官江川家関係資料・重要文化財江川家関係写真（合計約39,000点余）を適切に保存管理するための収蔵施設を建設する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
江川文庫収蔵施設は令和元年9月竣工、令和2年10月に環境自主検査を行い収蔵に適切な環境であることが確認された。伊豆の国市は文化財の保存環境整備のための空調設備や虫菌害対策の打ち合わせを通じて、江川家資料等の保存管理体制の向上に寄与した。また、令和3～4年度の資料収蔵にあたっては、資料運搬・収納の補助を行い、資料の保存環境の向上に寄与した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

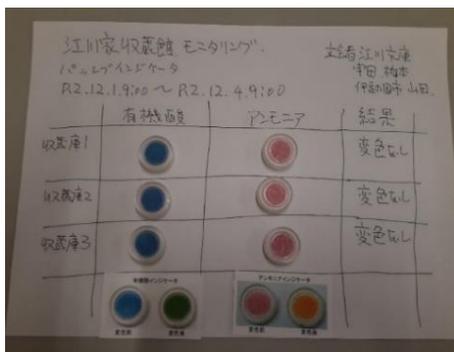
状況を示す写真や資料等

施設概要図



収蔵庫の仕様

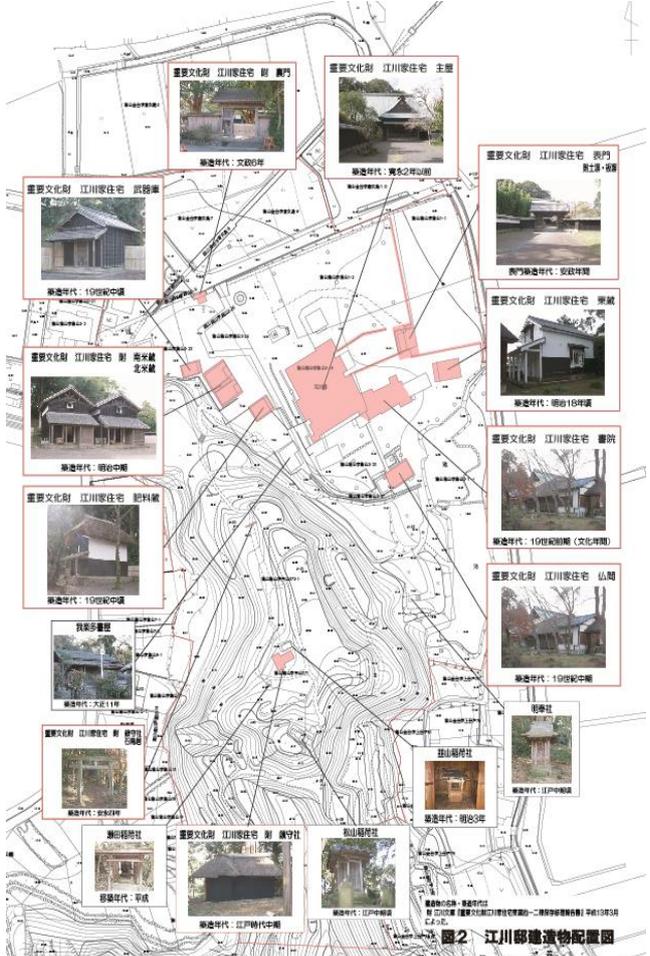
建設地：静岡県伊豆の国市
 葦山葦山2番地4
 構造：鉄筋C〇造、
 一部鉄骨造2階建
 建築面積：304.38㎡
 延べ床面積：464.19㎡



環境自主検査の結果



収蔵庫への資料搬入の様子

評価軸③ - 2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和 6 年度
項目		現在の状況	
江川邸周辺の歴史的風致形成建造物保全事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成 30 年度～令和 5 年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域である江川邸周辺地区内に点在している歴史的風致形成建造物（葦山稲荷、松山稲荷、瀬田稲荷、明奉社、星の宮）について、維持保全を図るために、必要に応じ補修及び修復などを行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物の候補を把握するため下記の調査を実施した。			
<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 9 月 20 日、対象建造物の予備調査 令和元年 12 月 6 日、対象建造物の確認調査 令和 2 年度 指定に向けた体制整備について課内で検討 令和 3 年度 江川家年中行事調査報告書を刊行 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和 3 年 6 月、これまでの江川家の民俗調査の結果をとりまとめた江川家年中行事調査報告書を刊行した。歴史的風致維持向上計画に記載している歴史的風致形成建造物（葦山稲荷、松山稲荷、瀬田稲荷、明奉社、星の宮）について、建造物の価値においては、歴史的風致形成建造物の指定基準を満たすものではないが、江川家の年中行事において使用され、江川邸及び周辺の風致を形成する重要な要素の 1 つであるため、今後も継承を補助していく。		
状況を示す写真や資料等			
令和元年 12 月 6 日歴史的風致形成建造物候補調査 調査者：伊豆の国市文化財保護審議委員 新妻淳子委員 調査対象：松山稲荷社、瀬田稲荷社、葦山稲荷社、明奉社、香山寺山門		 <p style="text-align: center;">図 2 江川邸建造物配置図</p>	
 <p style="text-align: center;">建造物調査 明奉社</p>			
 <p style="text-align: center;">瀬田稲荷社での年中行事の様子</p>			

評価軸③ - 3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	
史跡葦山反射炉保存修理事業・史跡葦山反射炉整備事業	
評価対象年度 令和6年度	
現在の状況	
<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金（歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業【史跡葦山反射炉保存修理】、埋蔵文化財緊急調査事業【史跡葦山反射炉】）
計画に記載している内容	煉瓦部分の劣化が進行している葦山反射炉本体について、保存修理工事を実施する。史跡内に所在した製砲工場としての遺構について発掘調査を行い、成果に基づいて史跡整備を実施する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
『葦山反射炉の保存・整備・活用に関する計画』（平成29年7月 伊豆の国市）に基づき下記の事業を実施した。	
(1) 保存修理事業 平成30年度 葦山反射炉保存修理基本設計の策定、令和元年度 葦山反射炉保存修理実施設計の策定 令和2年10月1日～令和3年10月29日 葦山反射炉保存修理工事を実施 令和4～6年度 高所作業車を使用し炉体の目視調査及び写真撮影を実施、月に一度モニタリング作業を実施	
(2) 発掘調査事業 令和3年5月19日～6月30日 葦山反射炉発掘調査を実施、調査結果は現地説明会や展示を行い市民等に周知	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	『葦山反射炉の保存・整備・活用に関する計画』に基づき実施する。 ※令和元年度から5か年で計画していた発掘調査は、令和3年度調査を以って休止し、調査結果のとりまとめを行う。令和8年度以降、発掘調査を再開予定。
状況を示す写真や資料等	
	
葦山反射炉発掘調査現地説明	葦山反射炉保存修理工事 工事用足場を使った見学用ルート
	
葦山反射炉保存修理工事 工事説明会	高所作業車による目視調査

評価軸③ - 4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度
無形民俗文化財記録作成事業	令和6年度 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和5年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市内の祭礼や伝統行事について調査を行うとともに、記録を作成する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
<p>下記事業を実施したことで、市内の民俗文化財の継承に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江川家の年中行事調査（令和元から2年度）、市内民俗調査（令和2～5年度）を計画 ・令和元年度、民俗学の専門家を調査員に委嘱し、江川家の年中行事の現地調査を10回実施 ・令和2年度、民俗学の専門家を調査員に委嘱し、江川家の年中行事の現地調査を1回実施 ・令和3年度、江川家年中行事調査報告書を刊行 ・令和4年度、民俗学の専門家を調査員に委嘱し、原木区三番叟の現地調査を2回実施 ・令和5年度、民俗学の専門家を調査員に委嘱し、寺家区三番叟の現地調査を4回実施 ・令和6年度 民俗芸能衣装の専門家の調査に同行し、田京区三番叟の衣装の記録を実施 	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内民俗調査は、新型コロナウイルスの影響や後継者不足により対象となる祭礼行事が中止となる可能性があるため、開催時に調査・記録を実施する。
状況を示す写真や資料等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">江川家年中行事調査報告書</p> <p style="text-align: center;">令和3年6月</p> <p style="text-align: center;">静岡県伊豆の国市</p> </div> <div style="width: 60%;">  <p style="text-align: center;">田京区三番叟衣装の調査の様子</p> </div> </div>	
<p>江川家年中行事調査報告書 (令和3年6月発行)</p>	
編集・発行	市教育部文化財課
配布先	江川家、江川文庫、金谷区、庁内関係課、 県内図書館、県内市町教育委員会、 市内公立高校・中学校 他
その他周知	市ホームページにて掲載

評価軸③ - 5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和 6 年度
項目		現在の状況	
地域に根付いている祭事に対する運営支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成 30 年度～令和 9 年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伊豆の国市で培われてきた祭事を維持し、継承していくため、開催支援を始め担い手の確保や育成を目的に必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
パンフレット「三番叟ガイド」を発行しPRを行ったことで、広く周知に寄与した。 令和 6 年度は、神島区のかわかんじょう、田京区・大仁区・三福区・原木区・寺家区の三番叟の奉納を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	支援を受けられる祭礼の定義について検討を行う必要がある。 市費補助金の支出（指定文化財に限る）や各種民間補助制度の案内等、金銭面での援助も実施する。 状況を示す写真や資料等		



大仁 大仁神社 三番叟出演者



田京 広瀬神社 三番叟上演の様子



パンフレット『三番叟ガイド』



原木 荒木神社 三番叟

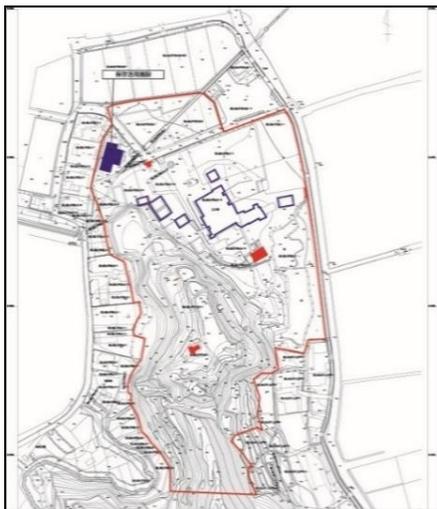
評価軸③ - 6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	
評価対象年度	
令和 6 年度	
現在の状況	
<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
(重文) 韮山代官江川家関係資料美術工芸品保存修理事業	
事業期間	平成 30 年度～（令和 5 年度）→令和 9 年度
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金（国宝・重要文化財美術工芸品保存修理抜本強化事業） 文化資源活用事業費補助金（美術工芸品美観向上整備事業）
計画に記載している内容	重要文化財に指定されている「韮山代官江川家関係資料」の書画・古文書・典籍等を適切に保存・活用するため、保存修理を実施する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
江川家資料の保存・活用のために下記事業を実施したことで、文化財の価値の維持に寄与した。 ・平成 30 年度 韮山代官江川家関係資料 保存修理事業 8 点 ・令和元年度 韮山代官江川家関係資料 保存修理事業 7 点 美装化事業 800 点 ・令和 2 年度 韮山代官江川家関係資料 保存修理事業 14 点 美装化事業 700 点 ・令和 3 年度 韮山代官江川家関係資料 保存修理事業 8 点 美装化事業 700 点 ・令和 4 年度 韮山代官江川家関係資料 保存修理事業 5 点 ・令和 5 年度 韮山代官江川家関係資料 保存修理事業 6 点 ・令和 6 年度 韮山代官江川家関係資料 保存修理事業 1 点 伊豆の国市は上記の事業について、国県補助事業の事業指導を行った。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	対象資料の選択、年次計画及び公開活用について、所有者と協議を行い継続的な実施につなげていく。
状況を示す写真や資料等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>美術工芸品保存修理事業の確認作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>令和 6 年度修理対象資料 パン焼き皿</p> </div> </div>	

評価軸③ - 7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和 6 年度
項目		現在の状況	
史跡葦山役所跡保存活用計画策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
		<input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成 30 年度～（令和 5 年度）→令和 9 年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金（重要文化財（建造物）保存修理事業、史跡等保存活用計画策定事業）		
計画に記載している内容	重要文化財江川家住宅を含む史跡葦山役所跡について、適切な保存と維持管理及び活用のための方針・手法・現状変更の取扱基準等を定める。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
計画策定への着手準備として、所有者である江川家及び（公財）江川文庫と史跡、建造物、美術工芸品に関する打合せを実施し、現状や課題等を確認した。把握を通じて特に緊急性が高い主屋、書院、仏間の屋根について、令和 3 年 6 月に保存修理工事実施の方針を決定し、10 回に及ぶ打合せの結果、令和 3 年 9 月から事業実施に結びつけた。また、令和 4 年 6 月に仏間、9 月に主屋と書院の屋根の保存修理工事が完了した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡葦山役所跡には史跡のほかに建造物、美術工芸品が所在している。これらの修理等事業計画と調査しながら、所有者と協議し、史跡の保存活用計画の策定を行うこととする。		

状況を示す写真や資料等



協議範囲：史跡葦山役所跡



重文 江川家住宅建造物保存修理事業(主屋銅板葺解体)



江川家住宅仏間（屋根修理完了後）



江川家住宅主屋（屋根工事完了後）

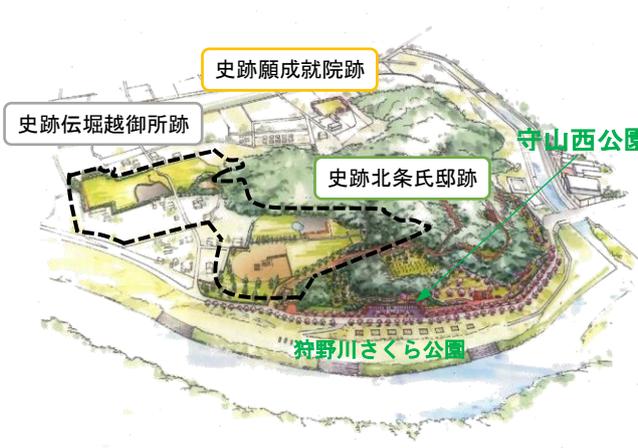
評価軸③ - 8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度 令和6年度
	現在の状況
	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～(令和8年度)→令和9年度
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業、埋蔵文化財緊急調査事業)
計画に記載している内容	史跡内における北条氏邸及び円成寺に関わる遺構の復原・遺構表示などの整備を行い、史跡が持つ歴史的価値を体感できる空間を整備する。併せて、守山中世史跡群として把握され、隣接して存在する伝堀越御所跡、願成就院跡の保存・整備についても進める。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
史跡北条氏邸跡(円成寺跡)の適切な保存・活用のため下記の事業を実施した。 ・令和元年9月 「史跡願成就院跡・史跡伝堀越御所跡・史跡北条氏邸跡保存活用計画」策定 ・令和2年度 「史跡北条氏邸跡整備基本計画」策定、史跡北条氏邸跡暫定整備 ・令和3～6年度 基本設計に向けた検討 ・令和6年度 史跡北条氏邸跡の見学路柵の改修	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度までは計画通り進捗しているが、令和3年度以降は、コロナウイルスの影響による収税減、市財政状況により整備事業の延期の可能性がある。(令和3～5年度は整備事業を見送っている。)
状況を示す写真や資料等	

守山中世史跡群整備年次計画

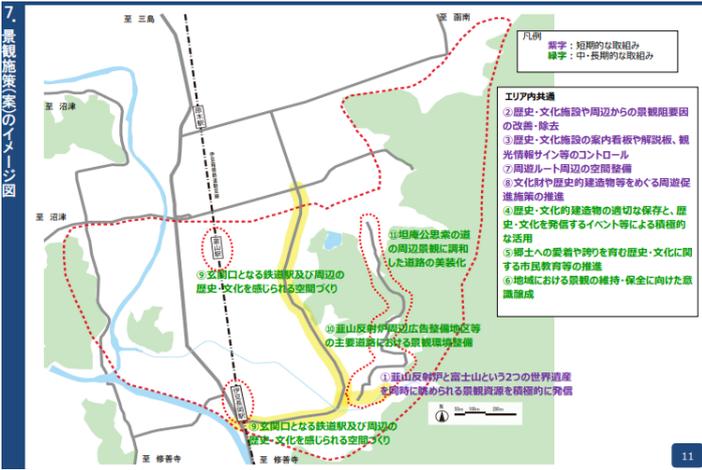
		前期基本計画期間						後期基本計画期間		
		令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)～
北条氏邸跡(円成寺跡)	1期	基本計画	基本設計	実施設計→	基盤整備工事 → 実施設計	円成寺跡遺構展示エリア整備工事			供用開始	活用事業 →
						実施設計→	北条氏邸跡遺構展示エリア整備工事 → 実施設計	サイン整備工事		
	2期		発掘調査	発掘調査	発掘調査	発掘調査	発掘調査報告書		後期基本計画策定	後期整備期間 →

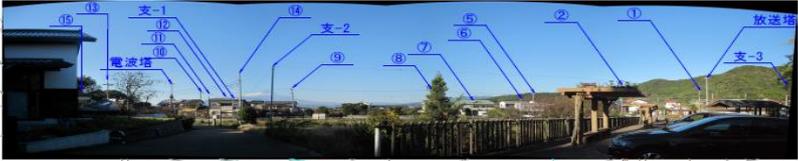
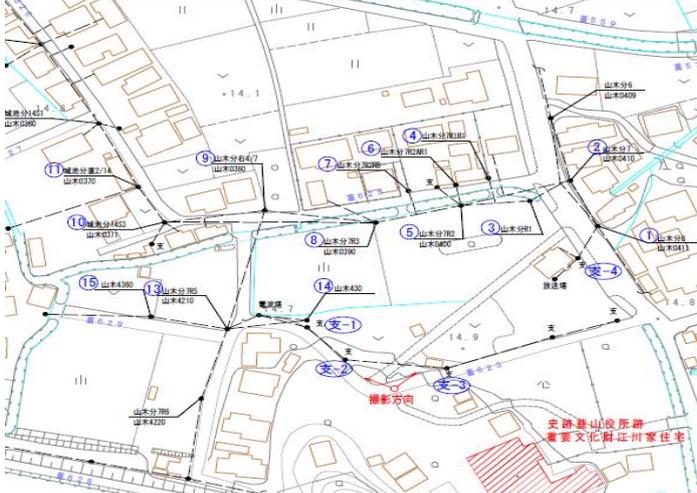


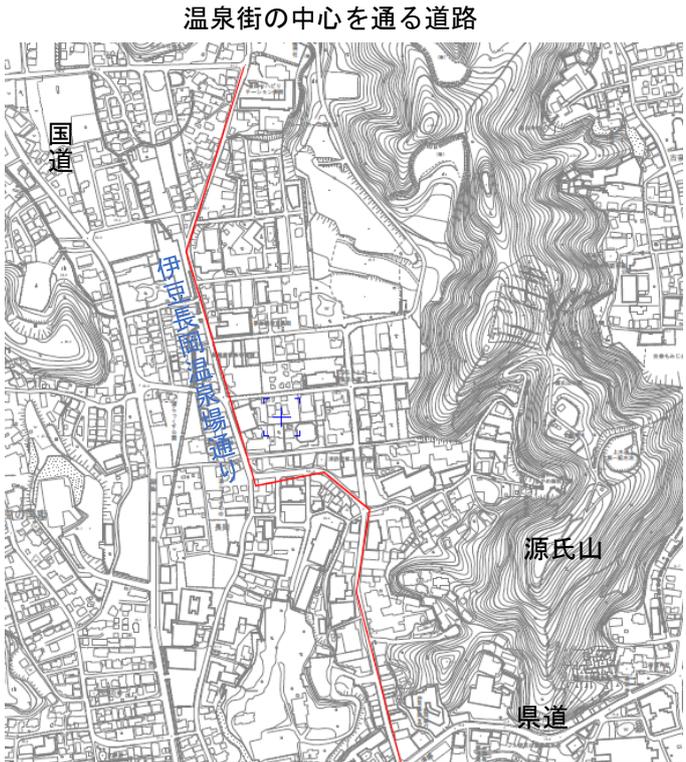
守山整備部会専門委員の現地視察

評価軸③ - 9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度	
令和 6 年度	
現在の状況	
<p style="text-align: center;">史跡公園整備事業「守山中世史跡群」PFI事業</p>	
<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和 4 年度～（令和 7 年度）→令和 9 年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	守山中世史跡群で、歴史・文化を活かしたまちづくりが期待されていることから、計画に位置付ける歴史的風致の一つとして今後の維持及び活用が求められる区域である。史跡及び周辺地域での整備・活用について、PFI事業の可能性を検討し、その結果を踏まえて史跡公園を整備する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
市では、平成 28 年度に歴史的価値のある文化資源を官と民がパートナーを組んだ事業展開の可能性調査を行った。調査対象の状況では現時点で相応の収益可能な施設がないことから、コンセッション方式による事業化は困難であり、コスト削減効果のあるPFI - BTO方式の導入可能性があるとの結果に至った。その後、対象地域である史跡願成就院跡・史跡伝堀越御所跡・史跡北条氏邸跡（円成寺跡）保存活用計画を令和元年度に策定した。また、史跡北条氏邸跡（円成寺跡）整備基本計画を令和 2 年度に策定した。今後、基本設計を作成する際に、PFI事業の導入可能性について改めて検討する。 令和 3 年度は、市が史跡整備の計画を進めている国指定史跡北条氏邸跡（円成寺跡）を 4 月 1 日から暫定的な園路と解説板を整備して一部公開した。また、令和 4 年 1 月から放映の大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」の舞台となる守山西公園は、多くの来訪者が見込まれたため、公園内の補修整備を実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	保存活用計画の方針を踏まえ、今後、PFI事業の導入に関する収益施設の設置条件等の課題整理を行い、調整協議する。
状況を示す写真や資料等	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>平成 28 年度～平成 29 年度 歴史・文化資源活用手法調査事業民間資金等活用可能性調査の実施</p> <p style="text-align: center;">～歴史的文化資源の保護から活用へ～ 官民連携による事業展開の模索</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>平成 30 年度～令和元年度 史跡願成就院跡・史跡伝堀越御所跡・史跡北条氏邸跡（円成寺跡）保存活用計画の策定</p> <p style="text-align: center;">～活用方針の位置づけ～ 具体的な整備の方向性の整理</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>令和 2 年度 「史跡北条氏邸跡整備基本計画」策定</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  </div> </div>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>史跡への園路整備</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>解説板設置</p> </div> </div>	
<p>令和 2 年度 史跡解説板設置及び整備 令和 3～6 年度 ～啓発事業実施～ 史跡北条氏邸跡（円成寺跡）一部公開</p>	
 <p>守山西公園展望台からの眺望</p>	
 <p>遊歩道の改修整備</p>	

評価軸③ - 10	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
項目	令和 6 年度
	現在の状況
葦山城跡総合調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成 30 年度～（令和 6 年度）→令和 9 年度
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金（埋蔵文化財緊急調査事業）
計画に記載している内容	現在未指定である葦山城跡の国史跡指定を目指し、その本質的価値を明らかにするため、総合調査（発掘調査、文献調査、地形測量、縄張調査、古道調査）を実施する。調査については伊豆の国市史跡等整備調査委員会葦山城跡整備部会委員の指導を受けて実施する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
葦山城跡の保存活用のため下記の事業を実施した。 ・発掘調査 令和元年度 本城二ノ丸 1 箇所、令和 2 年度 追越山付城跡確認調査 1 箇所 ・文献調査 令和元年度 市内 2 箇所、令和 2 年度 市内 1 箇所、令和 3 年度 市外 1 箇所 令和 4 年度 市外 2 箇所 ・地形調査 平成 30 年度 付城跡測量調査 1.07 km ² ・縄張調査 令和元年度 付城跡 1 箇所 ・葦山城部会開催 平成 30 年度 3 回、令和元年度 2 回、令和 2 年度 2 回、令和 3 年度 2 回、 令和 4 年度 2 回、令和 5 年度 2 回、令和 6 年度 1 回 ・関係資料調査 令和 4 年度 市外 1 箇所 ・地権者を対象とした説明会の開催 令和 5 年度 3 回 ・指定に向けた文化庁との協議 令和 6 年度 1 回	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡指定や調査事業の実施にあたり、地権者との合意形成を行いながら実施する。城跡や付城跡の大部分は民有地にあり、関係者間で史跡指定や調査事業の実施についての共通認識を図り、事前事後に調整を行う必要がある。
状況を示す写真や資料等	
	
令和 6 年度 葦山城跡整備部会	葦山城跡地権者説明会

評価軸③ - 11	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度
江川邸と葦山反射炉を結ぶ道路の美化事業	令和6年度
	現在の状況
	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和5年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重要文化財江川家住宅と葦山反射炉を結ぶ南北の道で、道路愛称「坦庵公思索の道」と名付けられている自然豊かな歴史の散歩道にふさわしい景観とするために、周辺の風景に調和した道路の美化を行う。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
・令和元年度 道路状況の調査、周辺景観の調査を実施した。また、観光地エリア景観計画との整合を図りながら道路景観等の課題を整理し、美化に向けた整備方法等を検討した。 ・令和2年度 江川邸と葦山反射炉を結ぶ道路の美化に向けて、整備手法の検討のほか、防護柵や案内サイン等の付帯工事の内容を確認し、概算整備費の算出を行った。 ・令和3年度以降 事業実施に向けた予算確保困難であり、優先する他の道路改良及び維持補修事業等を先行している状況である。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備延長が長く、事業費が膨大となっている。通常のインフラ維持管理及び整備に予算を要している。
状況を示す写真や資料等	
 <p>坦庵公思索の道（現状） 葦山代官江川英龍ゆかりの江川邸・葦山反射炉界隈の営みにみる歴史的風致（重点区域）</p>	 <p>7. 景観施策案のイメージ図</p> <p>凡例 紫字：短期的な取組み 緑字：中・長期的な取組み</p> <p>エリア内共通 ②歴史・文化施設や周辺からの景観阻害箇所の改善・除去 ③歴史・文化施設の案内看板や解説板、観光情報サイン等のコントロール ⑦周辺ルート周辺の空間整備 ⑧文化財や歴史的建造物等をめぐる周辺遊歩道の推進 ④歴史・文化的建造物の適切な保存と、歴史・文化を発信するイベント等による積極的な活用 ⑤郷土への愛着や誇りを育む歴史・文化に関する市民教育等の推進 ⑥地域における景観の維持・保全に向けた景観協議</p> <p>①坦庵公思索の道の周辺景観に調和した道路の美化 ⑥葦山反射炉周辺江島牧場地区等の主要遊歩道に付する景観環境整備 ④葦山反射炉と富士山という2つの世界遺産を同時に眺められる景観資源を積極的に発信 ⑨玄圃口となる鉄道駅及び周辺の歴史・文化を感じられる空間づくり</p> <p>観光地エリア景観計画 エリア範囲</p>
 <p>坦庵公思索の道（道路美化イメージ）</p>	 <p>三島方面 修善寺方面</p>
 <p>坦庵公思索の道</p>	

評価軸③ - 12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
重点区域における景観を阻害する電柱の撤去・移設事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～（令和5年度）→令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要文化財江川家住宅を含む史跡葦山役所跡や葦山反射炉の北側では、富士山を望むことができることから、歴史的風致とその周辺の景観を阻害する電柱の撤去や移設を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 電柱・電線の状況調査の実施（無電柱化範囲の検討、無電柱化手法比較検討、概算事業費算定及び事業スケジュール等）、また、策定した観光地エリア景観計画との整合性を図りながら景観を阻害する電柱の撤去・移設事業の推進を検討した。 令和2年度 江川邸周辺部の無電柱化に向けて、景観の阻害となる電柱の現況調査を行ったほか、整備手法の検討と概算整備費の算出を行った。 令和3年度以降 事業実施に向けた予算の確保が困難となっている。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している	本事項を事業化するには複数関係者との調整及び長期的な予算確保を要する。		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>江川邸北側の電柱等の状況</p>    <p>観光地エリア景観計画 エリア範囲図</p>  <p>周辺の景観形成（江川邸裏門） 葦山代官江川英龍ゆかりの江川邸・葦山反射炉 境界の営みにみる歴史的風致（重点区域）</p>			

評価軸③ - 13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和 6 年度
項目		現在の状況	
長岡温泉街の中心部を通る道路の美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	道路愛称事業で、「温泉場出逢い通り」と名付けられている長岡温泉街の中心部を通る道路の美装化事業を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
市では、平成 28 年度より、市道長 215 号線（温泉場出逢い通り）の舗装工事を継続的に実施している。令和 2 年度は、未改修となっていた長岡リハビリテーション病院までの L=460m の舗装工事を実施し、道路の美装化を図った。また、道路の美装化に関連して、順大病院前から市役所方面の県道の歩道幅が狭いため、歩道拡幅整備を県が実施している。なお、観光地エリア景観計画で位置付けた道路景観等の整備方針に基づき温泉街に相応しい美装化に向けた整備方法等も検討していく。令和 4 年度は、温泉場通り及び県道沿いに設置されている街路灯を温泉街に相応しいデザインの LED 灯に取り替えた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域が道路に対する想いや意向等を踏まえて寄り添い、事業化を検討していきたい。順天堂病院周辺の県道拡幅整備の事業推進に向け調整を図る。		
状況を示す写真や資料等			
			
L = 460m 舗装工事の実施状況		温泉場出逢い通り 伊豆長岡温泉にみる歴史的風致	

評価軸③ - 14	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度
民有地における伊豆長岡温泉活性化に向けたまちづくり・賑わいづくり創出事業	令和6年度 現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業、既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業補助金 他
計画に記載している内容	歴史ある温泉街の風景として維持し、活用につなげることやアイデンティティーの維持形成を図ることを目的に、温泉街の活性化に向けた建造物の保存等を推進する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
令和2年8月設立したエリアプラットフォーム「伊豆長岡温泉ミライ会議」は、令和3年3月に「伊豆長岡温泉未来ビジョン」を策定。「温泉のある暮らし」をテーマに4つのまちづくりコンセプトを設定した。策定した未来ビジョンを推進していくため、令和3年6月にミライ会議参画団体を中心に「一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント」を設立。また、伊豆長岡温泉未来ビジョンをもとに同法人と市と協力し「伊豆長岡温泉観光拠点再生計画」を策定。観光庁補助金「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業」を活用し、宿泊施設高付加価値化を推進した。平成27年度より開催されている温泉場お散歩市も、出店事業者50店舗以上となり、運営には高校生ボランティアなどを活用するなど賑わいを見せている。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在、令和5・6年度の2か年事業として、観光庁補助金を活用し取り組んでおり、令和5年度の申請においては市内全域から事業者が参画することとなった。引き続き、地域全体の活性化に向けた取り組み意識を関係者間で共有し、連携しながら主体的に地域課題の解決に臨む。
状況を示す写真や資料等	
○伊豆長岡温泉目指す姿 	○伊豆長岡温泉未来ビジョンまちづくりのコンセプト
○伊豆長岡温泉場お散歩市の様子 	
(各出典：伊豆長岡温泉ミライ会議資料)	

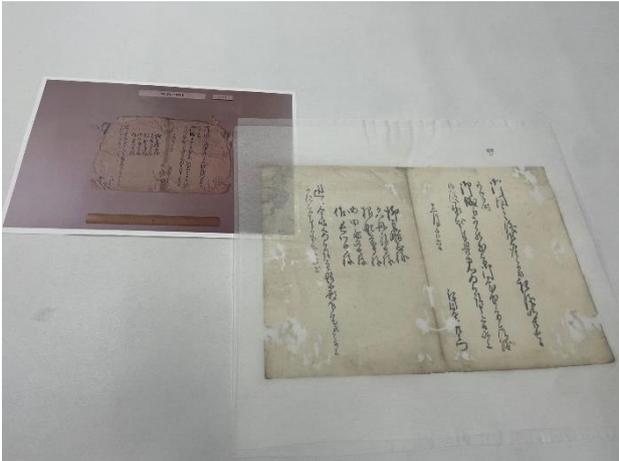
評価軸③ - 15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
公共サイン整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和5年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業、観光地域づくり整備事業費補助金		
計画に記載している内容	来訪者の円滑な移動を支援するため、公共サインの統一性の確保を目的に、景観への配慮、利用者の視点及び国際化に対応した道路案内サイン等を整備する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度に策定した伊豆の国市観光地エリア景観計画では、わかりやすい誘導案内、景観と調和した統一的なデザインの公共サインの必要性を示し、市内観光地等の著名地点誘導標識の改修については、静岡県が定める「しずおか公共サイン整備ガイドライン」に基づくユニバーサルデザインに対応した整備等を進めていく。市内の観光施設等に設置されている観光案内板については、周囲の景観と調和するデザインかつ多言語表記も含めた統一したデザインとし、多量の情報を板面に記載するのではなく、QRコード等の活用によりデジタルツールと組み合わせた板面整備を検討していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	観光地エリア景観計画においても、わかりやすく景観に配慮した公共サイン等のコントロールを位置付けており、既存サインの整理等も含めて適切に対応していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
今年度新設した歩行者用誘導標識		昨年度改修の観光案内板(大仁駅・田京駅・小坂みかん園)	
			
(参考) 県ガイドラインに基づく整備を実施した誘導標識 ※著名地点の名称の英語表記を統一し、JIS規格のピクトグラムを入れ「もてなししずおか“茶”方式」の対象となる誘導標識は茶色に変更		(参考) 多言語表記とした観光案内板 ※周囲の景観と調和するデザインかつ多言語表記も含めた統一したデザインとし多量の情報を板面に記載するのではなく、QRコード等の活用によりデジタルツールと組み合わせた板面整備を検討していく。	
令和5年度実績 誘導標識 3箇所(改修) 観光案内板 3カ所(改修)		令和6年度実績 誘導標識 2箇所(建替)、2箇所(新設)	

評価軸③ - 16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和 6 年度
項目		現在の状況	
市内民俗芸能・祭典等実施事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成 30 年度～令和 9 年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市の魅力や恰好・歴史資源を生かした民俗芸能や祭典等を開催することによって誘客や歴史的資源及び伝統文化の継承を促し、観光交流客、宿泊客を増加させ、地域経済の活性化及び地域活力の向上を図ることを目的に伊豆の国市観光協会が行う次の事業へ補助する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
伊豆の国市観光協会実施関係 観光協会の主催事業として、「源氏あやめ祭」・「伊豆長岡温泉花火大会 狩野川まつり」内で行われる狩野川台風慰霊式典・「鶴ばらい祭」がある。 「源氏あやめ祭り」では、古奈温泉と長岡温泉の間に位置する源氏山の活用（あやめ御前広場、もみじ公園での奉納風車展示販売。源氏山のライトアップ等）に新たに取り組み、昨年度を超える約 30,000 人の来場者があった。 「鶴ばらい祭」は、昨年度より、例年の 1 日のみの開催ではなく、令和 7 年 1 月 25 日、26 日の 2 日間での開催とし、25 日には伝承にちなんで弓道大会を、26 日には中学生による鶴の踊り、弓・太鼓や芸者の踊りの披露などを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内民俗芸能や祭典に関しては将来の担い手不足の解消を狙いとして若年層への情報発信も継続して行う。 状況を示す写真や資料等		
<h3>鶴ばらい祭の様子</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>弓道大会 場所：狩野川リバーサイドパーク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鶴ばらい祭本祭 場所：古奈もみじ公園</p> </div> </div> <h3>源氏あやめ祭の様子</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>あやめ御前供養祭 場所：もみじ公園</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>奉納風車 場所：あやめ御前広場</p> </div> </div>			

評価軸③ - 17	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	
評価対象年度	
令和6年度	
現在の状況	
<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
市民組織の活動費補助事業	
事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	「葦山反射炉を愛する会」は、世界遺産「明治日本の産業革命遺産群」の構成資産である葦山反射炉の遺産価値や江川坦庵公を愛する人が集い、ともに学びその輪を広げることを目的とした会であり、その活動費を市が補助する。また、葦山反射炉の普及啓発・広報活動を市と協力して実施している「伊豆の国歴史ガイドの会」等の市民組織を支援する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
市民組織活動支援のため下記の事業を実施。 ・補助事業 補助金1団体（葦山反射炉を愛する会） ・支援事業 活動支援3団体（伊豆の国歴史ガイドの会、外国語ガイドの会、葦山城・早雲公を顕彰する会）	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ガイド団体は、既存会員の資質向上、新規会員の加入に課題があり、その部分で支援を行う。
状況を示す写真や資料等	
●補助事業	
団体名	活動内容
葦山反射炉を愛する会	講演会の実施、葦山反射炉教材の作成・販売、俳句と短歌募集・表彰、葦山反射炉清掃活動。
●支援事業	
団体名	活動内容
伊豆の国歴史ガイドの会	市内歴史ガイドに対する支援。市内文化財関係講習会の開催、市職員が定例会へ出席し文化財の情報周知を行う。市広報にて会員募集記事掲載。
伊豆の国外国語ガイドの会	葦山反射炉ガイドに対する支援。市広報にて会員募集記事掲載。
葦山城・早雲公を顕彰する会	葦山城跡に関連するイベントの開催支援。市SNSでの情報周知。
	
早雲公を顕彰する会による 葦山城まつりの開催 (てづくり甲冑コンテストの様子)	伊豆の国歴史ガイドによる 葦山城跡のガイドの様子

評価軸④ - 1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理（活用）計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解する上で必要不可欠なものであるため、必要な調査を行い、価値が認められたものについては市指定や国の登録制度の活用を検討することで適切な保護を行う。 定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
令和6年度は、市内文化財の把握と適切な管理のために下記の事業を行った。 ●文化財調査 柏木家文書（市寄託品）の調査、長楽寺阿弥陀如来坐像の調査 ●文化財の修理事業 大塚4・6号墳出土遺物（市指定文化財）の保存修理			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既市指定文化財について、現在の指定基準に照らし合わせて指定内容や名称の見直しを行う。 状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>長楽寺阿弥陀如来坐像</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大塚4・6号墳出土遺物（保存修理後）</p> </div> </div>			

評価軸④ - 2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組、防災訓練の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	・文化財に対する認識を高めるためには、より多くの人々に文化財の存在や理解を促す機会を提供する普及・啓発の取組が重要である。市内外の人々を対象とする普及・啓発は、案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、イベントの開催等により実施する。 ・防災教育や訓練は、文化財の所有者等に対して、防災に係る周知啓発と防災教育に取り組み、文化財防火デーには、各地の消防団や自主防災組織と連携して、文化財施設での通報訓練や初期消火訓練を実施する。地震対策としては、耐震診断や耐震補強工事の実施など、個別の災害ごとに必要と考えられる対策を行うことにより、き損・滅失のリスクの軽減を図る。 ・各種団体の多様な活動をさらに活性化させるため、必要な情報提供や人材育成等を積極的に支援し、地域住民が主体となるような文化財保護活動を進めていく。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は、住民の文化財への意識の向上と市内外の人々の文化財の認知のために下記の事業を実施した。 ・文化財に関する普及 ・啓発の取組（文化財講演会2回、県内世界遺産PRをイベント2回、市民講座1回、歴史まちづくりカードの配布20,248枚：2024年1月末現在） ・防災訓練の取組（市内文化財施設における防災訓練1回） ・民間団体への助成・支援や連携・協力した取組、民間団体が実施した取組（文化財保護事業に対する補助3件）			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●文化財に関する普及・啓発の取組（令和6年度）			
実施内容	実施日	内容	
火起こし体験学習	4月～7月	学生と対象としたマイギリ式の火起こし体験を実施	
郷土資料館企画展	4月27日～7月25日	伊豆長岡温泉の古い絵葉書と現在の写真等の比較展示	
	7月27日～10月24日	郷土資料館の収蔵品を紹介する展示	
	10月26日～1月30日	葦山城と北条氏の伊豆支配について解説	
	2月1日～4月27日	國學院大學説話研究会の市内での研究結果の発表展示	
郷土資料館ワークショップ	8月4日,6日,9日	勾玉づくり・はにわづくり・網代編み体験を実施	
資料館だよりの刊行	10月31日	郷土資料館の収蔵品と伊豆長岡温泉についての特集を掲載	
鋳物づくり体験	7月13日	木村鋳造主催で鋳造工程を学ぶホワイトメタルによるキーホルダー作り体験を実施	
県内世界遺産PRイベント	11月16日,12月7日	葦山反射炉の認知度向上のため静岡県西部商業施設にてイベントを開催	
葦山反射炉講演会	9月29日	葦山反射炉に関する講演会を開催	
文化財講演会	7月6日	ニール号に関するシンポジウムを開催	
	8月10日	鎌倉北条氏に関するシンポジウムを開催	
文化財市民講座	2月1日	江戸時代の伊豆の年貢米の輸送に関する講座を実施	
●防災訓練の取組（令和6年度）			
実施主体	実施日	対象文化財	
公益財団法人江川文庫	1月29日	江川家住宅	
●民間団体への助成・支援や連携・協力した取組（令和6年度）			
団体名	実施日	内容	
伊豆の国市建設業協会	6月20日	葦山反射炉周辺の清掃活動を実施	
葦山反射炉を愛する会	7月6日,11月13日	葦山反射炉の清掃活動を実施	
葦山城・早雲公を顕彰する会	11月2日	葦山城まつりを開催	

評価軸④ - 3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災・防犯に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	・所有者・管理者が行う日常的な点検により、文化財建造物の損傷の早期発見に努めるとともに、必要に応じて所有者等の意識向上を目的とした適切な助言を行う。 ・文化財の周辺環境は、文化財の価値にも影響を及ぼす恐れがあるため、文化財の保存・活用を図る上では、文化財だけに措置を講ずるのではなく、その周辺環境を含めて取り組むことが重要である。 ・有形文化財は、火災や地震、落雷、水害、台風等の災害により、き損や滅失する恐れがあることから、個別の有形文化財ごとに防災対策を検討し、被災リスクの軽減を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
●文化財の修理事業 重要文化財葦山代官江川家関係資料保存修理事業 ●文化財の周辺環境の整備事業 江川家住宅指定文化財管理事業、北条氏邸跡の除草・散策路の整備 ●防災、防犯に関する事業 文化財防火デーに合わせての防火訓練実施の呼びかけ及び防災訓練の実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>修理中の葦山代官江川家関係資料</p>			
 <p>葦山反射炉ガイダンスセンター文化財防火訓練 (防災機器点検)</p>			

評価軸⑤ - 1
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和6年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
伊豆長岡温泉 絵はがきで（郷土資料館企画展の開催）	令和6年5月27日	伊豆日日新聞	
ニール号犠牲「風化させない」（文化財講演会の開催）	令和6年7月8日	静岡新聞	
反射炉英語でガイド「すごい！」（小学生による葦山反射炉での外国語ガイドの実施）	令和6年9月22日	静岡新聞	
反射炉ブーム 葦山から（葦山反射炉講演会の開催）	令和6年10月1日	伊豆日日新聞	
手作り甲冑 かわいい（葦山城まつりの開催）	令和6年11月3日	静岡新聞	
餅割り無事祈願「具足開き」（江川邸で具足開きを開催）	令和7年1月16日	伊豆日日新聞	

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

文化財通信として毎月記事を掲載することで、市内外への周知とともに歴史的資源のPRに繋がった。また、祭事やイベントが新聞等のメディアに取り上げられることで、市民の文化財に関する関心が高まった。本市も加盟する中部歴まちでは、今後のアフターコロナを見据え、中部の歴史まちづくりを広くPRし、地域活性に繋げていくため、SNSを通じた情報発信の投稿を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



広報いずのくに
令和6年7月号
文化財通信



伊豆の国市ホームページ
フォトニュース
「鋳物づくり教室」開催



伊豆の国市公式Instagram
葦山反射炉でイベント開催
（こどもの日）



中部歴まち
Instagramの活用



中部歴まち
参加都市紹介動画の配信

評価軸⑥ - 1 その他（効果等）		評価対象年度	令和6年度
項目			
住民の意識向上			
計画に記載している内容	本市の文化財は、これまで活用が十分でなかった面もあり、市内外の人々への普及・啓発についても十分とはいえない状況にある。このため、文化財に対する認識を高めるためには、より多くの人々に文化財の存在や理解を促す機会を提供する普及・啓発の取組が重要である。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
文化財の存在や理解を促す機会を提供するために下記の事業を実施した。 ・文化財講演会 ・文化財市民講座、出前授業 ・教育機関との連携			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
●伊豆の国市文化財シンポジウム（講演会）参加者数と市民の割合			
年度	実施内容	参加人数	市民参加割合
平成29年	韮山城をめぐる攻防～韮山城を守る攻めるから考える～	460人	38.46%
平成30年	武田信玄来襲!!～三国同盟崩壊と韮山城をめぐる攻防～	439人	37.36%
令和元年	宗瑞打ち入り茶々丸たいへん	350人	40.50%
令和2年	韮山反射炉世界遺産登録5周年記念講演会	140人	59.29%
令和3年	北条義時連続講座（3回開催）	534人	58.24%
令和3年	韮山反射炉講座（2/20開催）	120人	75.00%
令和3年	上杉謙信逝く 韮山城が戦場になるのはなぜ？（2/23開催）	177人	53.11%
令和4年	鎌倉武士 武家文化の「始まり」（6/25開催）	180人	52.22%
令和5年	北条三代の栄華と夢の跡（7/22開催）	311人	40.54%
令和5年	描かれたつわものと地下に眠る夢の跡（3/2開催）	120人	48.00%
令和6年	ニール号と柏木忠俊（7/6開催）	100人	22.50%
令和6年	鎌倉武士の日常生活（8/10開催）	244人	27.90%
文化財シンポジウム及び講演会等は、市の歴史の事象や文化財にスポットをあてて年1回程度実施している。			
市の歴史文化を理解してもらうため、シンポジウムを通じて市内外に情報を発信している。市民の割合は40～50%程度を維持しており、令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、遠方からの参加が少なく市民参加割合が高い傾向にあったが、令和5年度にはコロナ禍以前と同様に市外からの参加者が6割ほどとなった。			
●学校教育との連携			
韮山反射炉の理解増進及び文化財愛護の精神を啓もうするため、毎年、市内中学校1年生を対象に「韮山反射炉検定」を実施しており、令和6年度はWeb方式により実施し、計381人が受検した。			
学校名	実施日（期間）	受検者数	備考
韮山中学校	令和6年11月25日～12月12日	162人	出前講座（11月19日）
長岡中学校	令和6年12月5日	107人	出前講座（11月27日）
大仁中学校	令和6年10月8日～12月10日	112人	

評価軸⑥ - 2 その他 (効果等)		評価対象年度	令和 6 年度																																																																																																																
項目																																																																																																																			
文化財の保存及び活用に向けた普及・啓発の必要性																																																																																																																			
計画に記載している内容	重点区域内に分布する文化財の普及・啓発に係る取組を推進することは、歴史的風致を維持及び向上させる上でも重要である。普及・啓発の方法としては、訪れる人々の周遊を促すためのパンフレット・マップを配布するとともに、普及・啓発のためのイベントを実施するなどして、より身近に文化財を感じてもらおう機会を創出する。																																																																																																																		
定性的・定量的評価 (自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																																																																																																			
本市の歴史的風致を多くの方々に知っていただくため、葦山反射炉をはじめ市内の歴史資源の情報をQRコードを通じて入手できる歴史まちづくりカードを希望者に配布している。観光協会が運営する伊豆長岡駅前観光案内所は、鉄道利用者をはじめ、車で移動する観光客も立ち寄る情報発信の拠点であり、本市の歴史文化情報の発信は、交流人口の拡大に向けて観光施設と歴史文化施設の回遊性を高めるために必要な周知方法と捉えている。																																																																																																																			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針 (自由記述)																																																																																																																		
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	国土交通省中部地方整備局管内の認定都市が連携して、歴史まちづくりカードを活用したカードラリーを実施した。今後も歴史資源の情報発信ツールの一つとして更なる活用の方法を検討する。																																																																																																																		
状況を示す写真や資料等																																																																																																																			
<p>●来場者数の推移と歴史まちづくりカードの配布状況 場所：伊豆長岡駅前観光案内所及び葦山反射炉ガイダンスセンター</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>来場者数 (人)</th> <th>配布数 (枚)</th> <th>年月</th> <th>来場者数 (人)</th> <th>配布数 (枚)</th> <th>来場者前年増減</th> <th>配布前年増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 5, 4月</td> <td>10,294</td> <td>253</td> <td>R 6, 4月</td> <td>7,530</td> <td>229</td> <td>▲2,764</td> <td>▲24</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>13,076</td> <td>271</td> <td>5月</td> <td>9,325</td> <td>335</td> <td>▲3,751</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>10,079</td> <td>229</td> <td>6月</td> <td>7,631</td> <td>187</td> <td>▲2,448</td> <td>▲42</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>8,148</td> <td>302</td> <td>7月</td> <td>6,013</td> <td>263</td> <td>▲2,135</td> <td>▲39</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>10,429</td> <td>374</td> <td>8月</td> <td>8,836</td> <td>431</td> <td>▲1,593</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>9,259</td> <td>322</td> <td>9月</td> <td>7,069</td> <td>283</td> <td>▲2,190</td> <td>▲39</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>10,952</td> <td>341</td> <td>10月</td> <td>8,240</td> <td>261</td> <td>▲2,712</td> <td>▲80</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>12,900</td> <td>188</td> <td>11月</td> <td>9,590</td> <td>359</td> <td>▲3,310</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>9,091</td> <td>514</td> <td>12月</td> <td>7,120</td> <td>292</td> <td>▲1,971</td> <td>▲222</td> </tr> <tr> <td>R 6, 1月</td> <td>8,894</td> <td>474</td> <td>R 7, 1月</td> <td>7,684</td> <td>242</td> <td>▲1,210</td> <td>▲232</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>10,085</td> <td>167</td> <td>2月</td> <td>8,504</td> <td>295</td> <td>▲1,581</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>12,971</td> <td>311</td> <td>3月</td> <td>10,216</td> <td>380</td> <td>▲2,755</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>126,178</td> <td>3,746</td> <td>合計</td> <td>97,758</td> <td>3,557</td> <td>▲28,420</td> <td>▲189</td> </tr> </tbody> </table> <p>(来場者数は、葦山反射炉ガイダンスセンターのみ)</p> <p>●令和 6 年度の取組 市では、葦山反射炉ガイダンスセンターと、伊豆長岡駅前観光案内所において歴史まちづくりカードを配布しており、毎月の配布枚数を集計している。</p> <p>●令和 6 年度の評価 令和 4 年はNHK大河ドラマが放映されたことで、北条義時ゆかりの地である伊豆の国市への来訪者が増加したが、大河ドラマ終了後の令和 5 年度以降は来場者数が減少傾向にある。 ただし、歴史まちづくりカードの配布枚数の減少率は、来場者数の減少率に比べて緩やかであるため、来場者から見た歴史まちづくりカードは、一定の関心があると言える。</p>				年月	来場者数 (人)	配布数 (枚)	年月	来場者数 (人)	配布数 (枚)	来場者前年増減	配布前年増減	R 5, 4月	10,294	253	R 6, 4月	7,530	229	▲2,764	▲24	5月	13,076	271	5月	9,325	335	▲3,751	64	6月	10,079	229	6月	7,631	187	▲2,448	▲42	7月	8,148	302	7月	6,013	263	▲2,135	▲39	8月	10,429	374	8月	8,836	431	▲1,593	57	9月	9,259	322	9月	7,069	283	▲2,190	▲39	10月	10,952	341	10月	8,240	261	▲2,712	▲80	11月	12,900	188	11月	9,590	359	▲3,310	171	12月	9,091	514	12月	7,120	292	▲1,971	▲222	R 6, 1月	8,894	474	R 7, 1月	7,684	242	▲1,210	▲232	2月	10,085	167	2月	8,504	295	▲1,581	128	3月	12,971	311	3月	10,216	380	▲2,755	69	合計	126,178	3,746	合計	97,758	3,557	▲28,420	▲189
年月	来場者数 (人)	配布数 (枚)	年月	来場者数 (人)	配布数 (枚)	来場者前年増減	配布前年増減																																																																																																												
R 5, 4月	10,294	253	R 6, 4月	7,530	229	▲2,764	▲24																																																																																																												
5月	13,076	271	5月	9,325	335	▲3,751	64																																																																																																												
6月	10,079	229	6月	7,631	187	▲2,448	▲42																																																																																																												
7月	8,148	302	7月	6,013	263	▲2,135	▲39																																																																																																												
8月	10,429	374	8月	8,836	431	▲1,593	57																																																																																																												
9月	9,259	322	9月	7,069	283	▲2,190	▲39																																																																																																												
10月	10,952	341	10月	8,240	261	▲2,712	▲80																																																																																																												
11月	12,900	188	11月	9,590	359	▲3,310	171																																																																																																												
12月	9,091	514	12月	7,120	292	▲1,971	▲222																																																																																																												
R 6, 1月	8,894	474	R 7, 1月	7,684	242	▲1,210	▲232																																																																																																												
2月	10,085	167	2月	8,504	295	▲1,581	128																																																																																																												
3月	12,971	311	3月	10,216	380	▲2,755	69																																																																																																												
合計	126,178	3,746	合計	97,758	3,557	▲28,420	▲189																																																																																																												



評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称：令和6年度第7回伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時：令和7年3月10日（月）14：00～15：40 於：伊豆長岡庁舎3階第1会議室	
(コメントの概要)	
<p>【①組織体制】 特になし</p>	
<p>【②重点区域における良好な景観を形成する施策】 特になし</p>	
<p>【③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・評価軸③ - 4 伊豆の国市は、ここで5つ全ての三番叟が指定を受けた。染織の先生は5つ全ての三番叟を調査した。全団体が集まったフォーラムを開催してはどうかとの意見が出ている。調査結果をふまえて意見交換してもよい。そのような場を市で設定していただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・評価軸③ - 8 願成就院本堂の茅葺屋根の文化財指定に向けて継続的な働きかけをお願いしたい。北条氏邸跡から願成就院までの歩道や広場の南塔跡の看板等の修繕もお願いしたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・評価軸③ - 10 葦山反射炉から江川邸まで、観光客に「歩いてどれくらいか」と聞かれることが多く、地図を渡して案内することが多い。江川邸の駐車場では受付が分からず迷ったりする方もいる。各所に看板があることは承知しているが、初めて来訪する方向けに道路面に標示することなどを検討いただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・評価軸③ - 11 江川邸駐車場のアスファルト舗装に矢印を入れてはどうか。全国から熱心な北条ファンが来る。史跡が指定を受けると認知度も上がり、観光客等も増えていくため、案内看板を充実させてしっかりとした案内が出来るとよい。また、計画期間には、市内各所に様々な道路愛称が名づけられた。葦山時代劇場から蛭ヶ島公園までの間は、市の木である「柳」が植わっており、北条政子没後800年にちなみ「頼朝政子の柳木道」と愛称を名付けてはどうか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・評価軸③ - 15 葦山城については国の指定を受けるとなると来訪者も増える。どこにどのような案内看板を設置したらよいか、具体的かつ早急に検討いただきたい。 	
<p>【④文化財の保存又は活用に関する事項】 特になし</p>	
<p>【⑤効果・影響等に関する報道】 特になし</p>	
<p>【⑥その他（効果等）】 特になし</p>	
<p>【全般に関すること】</p>	
<p>今年度より社会資本整備総合交付金が拡充（市外化調整区域でも対象）となり、サイン標示や道路整備に活用できる可能性がある。県内では、歴史まちづくりをベースとした都市再生整備計画の例はないが、景観計画と歴史的風致維持向上計画を連携させ、国の交付金等を活用しながら取組みを推進していただきたい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・葦山城跡については、令和7年度中の史跡指定を目指して準備している。葦山城や北条早雲を多くの人に知ってもらうため、地域と一緒に活動する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・完了していない事業について、鋭意取り組むとともに国交付金等を活用しつつ、市民・企業と共同で歴史的風致を守り継承していくシステムの構築に取り組む。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、多くの方が文化財に興味や関心を持つような文化財講演会などを企画する。 	